

毎月第1日曜日は、家庭人権学習の日

☆おうちの人と人権について話し合ったり、考えたりしましょう。



テーマ： いじめ

～いじめを自分ごととして考えよう～

春の訪れが感じられる3月になりました。今週末（3月5日）は、今年度最後の家庭人権の日です。今回は、各ご家庭でいじめについて考えてみませんか。

2月22日（水）はピンクシャツデーでした。各学級で友達と仲良くしていくにはどのようにすればいいのかを考え、カードに書きました。書いたカードを学年ごとに北校舎1階の廊下に掲示してあります。

その中から紹介します。

1年☆じぶんにされていやなことは、ともだちにしない。

2年☆ぶつかったらすぐにごめんなさいといってなかなかおりをします。

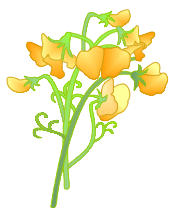
3年☆悪いことをしてしまったら、きちんとあやまります。

4年☆まわりでいやなことばを聞いたら「やめて」といいます。うわさ話はしません。

5年☆いじめに気がいたら先生に言います。これから6年生という自覚をもって学校全体を考えたり児童会で話し合っていったりしたいです。

6年☆人との距離感を守ります。みんなに平等な対応をしていきたいです。

これからもいじめがなく、自分も友達も大切にする大野小学校になるよう願っています。



1年間、人権について、親子で取り組んでいただきありがとうございました。

2023年 2月 22日（水）

社会全体がいじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、

そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、

傷つけ合うことのない平和な社会につながっていく...と私たちは考えます。

一人ひとりが勇気をもって、「自分ではない誰かのために」、そして自分たちのために行動しませんか。

YMCAはそのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

ピンク色のシャツは、いじめ反対運動のシンボル

2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「小モセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。